

南仏プロヴァンスの洞窟 (13)

～ピレネー地方の洞窟～

本多力 (HONDA, Tsutomu NPO 法人火山洞窟学会所属 東京都在住)

1. はじめに

ローマ時代のプロヴィンキアはピレネー地方の一部を含んでいたためプロヴァンスと無関係というわけではない。ここではプロヴァンスを少し逸脱するが、大西洋岸に近い地域から地中海に近い地域にいたるピレネー山脈の近傍に存在する洞窟を紹介したい。

ピレネー地方には何回か行ったがそれらを実地から地中海に向かって順次紹介してゆく。ピレネー地方の観光洞窟は以下ウェブを参考にすると良い。

<http://www.grottes-en-france.com/grottes-ouest.html>



ピレネー地方

エクサンプロヴァンスを朝4時出発して途中道を間違えたので到着は12時半ごろ。イスチュリッツ洞窟はすでに昼休みに入っていた。写真1、写真2に洞窟の入口を示す。待つ間食事と周りの散歩。14時から1時間ほど見学した。

パンフレットと最下層発見者によって書かれた本がすばらしい(参考文献3、4)。土曜日に見学したので、翌日の2時間の日曜の定例の11時から13時までの洞内の先史絵画の特別講義案内も魅力的で参加したかったが時間的余裕がなかったのは残念である。通常案内される洞内の絵以上を見たいのであればこのツアーには是非行くべきとおもう。小さいが博物館が付設されており極めて簡潔で充実している洞窟と感じた。

80,000年前から人間が連続して住み続けたというこの洞窟は図1に示すように三層からなり、一番上が化石化した洞窟でイスチュリッツ洞窟、2番目をオクソセルハヤ洞窟、地下水流のある一番下の洞窟

2. イスチュリッツ洞窟

イスチュリッツ洞窟はほとんど大西洋岸に近いバスク地方にあるためエクサンプロヴァンスからはフランスを横断することになるので車で8時間ほどかかる。考古学的及び先史絵画的にも有名な洞窟である(参考文献1-4)。



写真1 イスチュリッツ洞窟の駐車場



写真2 イスチュリッツ洞窟の入口

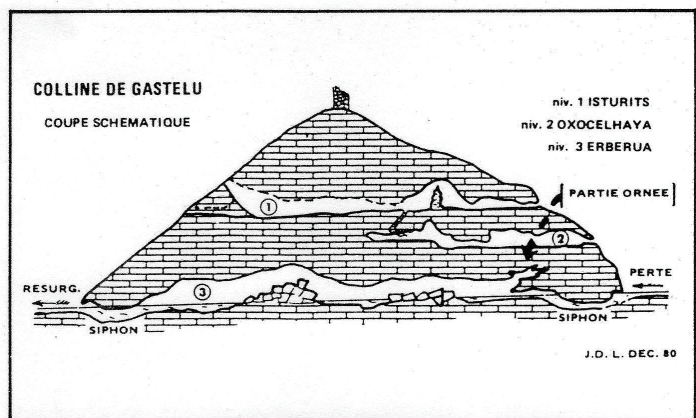


図1 イスチュリッツ洞窟縦断面図(参考文献2より)

がエルベルア洞窟である。

写真3に示すガズテルと呼ばれる石灰岩の小さな丘の中に洞窟はある。3層の洞窟のすべてに先史絵画が見られる。一番下の洞窟にはサイフォンがあるため入れないが一番上と2番目は人工的なトンネルで観光のためにつながれている。最下層の洞窟は潜水によりサイフォンを踏破して発見されたものである。最下層に滞在しておこなう調査のためにプロジェクトチームが作られ、丘の上から最下層まで通信用ケーブルがひかれ、降雨量などの天候の情報などやり取りされて実施された。この洞窟には長い発見のドラマがある。絵が描かれた当時は地下水流面がもっと下であったと考えられている。すべての洞窟の内部は依然発掘調査中である。個人所有で撮影禁止。学術的(先史的にも地質学的にも)にはこの洞窟